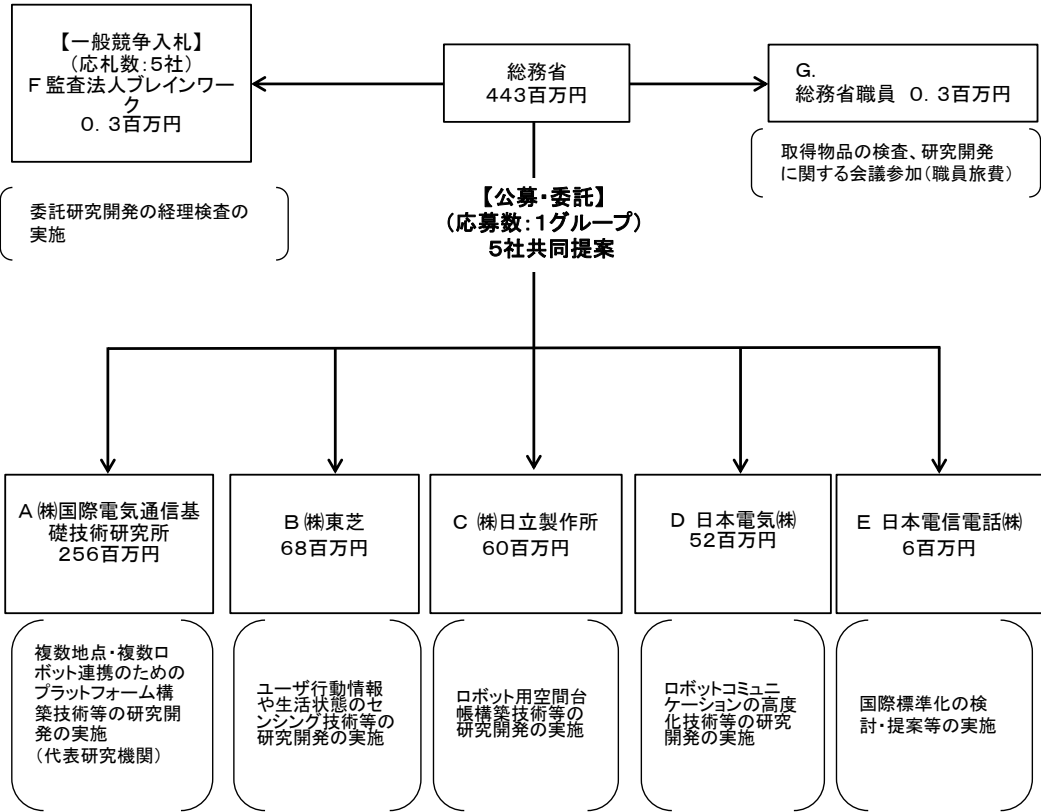


平成24年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発	担当部局庁	情報通信国際戦略局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成23年度	担当課室	技術政策課研究推進室	室長	松井 俊弘			
会計区分	一般会計	施策名	V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第75条	関係する計画、通知等	第四期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	少子高齢化が急速に進展する中、高齢者・障がい者の社会参加の拡大や医療・介護サービス基盤の強化等、高齢者や障がい者が安心・安全に暮らせる地域・社会の実現に向け、2015年以後、段階的に、見守り、生活・介護支援、ヘルスケア等に利用可能となるネットワークロボットの研究開発を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国が情報通信関係の研究機関(民間企業)に委託して、複数地点で複数ロボットが連携してサービス提供を可能とする技術や、周辺環境に応じたきめ細かなサービス提供を可能とするコミュニケーション技術等の研究開発を推進する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	550	739	450	0	0	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	550	739	450	0	0	
	執行額	508	736	443				
執行率(%)	92.4%	99.6%	98.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	研究開発成果の確認には終了後一定の期間を要するのが通常であることから、「諮問第2号「国の研究開発評価に関する大綱的指針について」に対する答申」(平成13年11月28日総合科学技術会議)に基づき、外部有識者による追跡評価(研究開発終了後5年後を目処)を行い、成果目標の達成度合いも含めて評価いただくこととしている。このため、成果実績等については現時点では記載することが困難。		成果実績		-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①特許出願数 ②論文掲載数 ③研究発表数 ④報道発表数 ⑤標準提案数	活動実績 (当初見込み)		①:件	9	35	12(9)	—
		②:件	6	6	11(8)	—		
		③:件	51	111	90(12)	—		
		④:件	36	29	15(1)	—		
		⑤:件	8	14	15	—		
単位当たりコスト	算出根拠		平成23年度の執行額(442,779千円)を、平成23年度のそれぞれのアウトプットの数(①～⑤)で除して算出した。					
	①36,898(千円/件) ②40,253(千円/件) ③4,920(千円/件) ④29,519(千円/件) ⑤29,519(千円/件)							
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				平成23年度をもって研究開発終了				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	○本施策は、高齢者・障がい者の社会参加の拡大や医療・介護サービス基盤の強化等、高齢者や障がい者が安心・安全に暮らせる地域・社会の実現に向け、ネットワークロボットの研究開発を推進するものであり、その成果による利益は広く国民に享受されるものであることから、国民のニーズに応えるものと認められる。 ○ネットワークロボット技術が世に出ようとしている現在のタイミングで、国のプロジェクトとして複数受託者が一体となって推進し、標準化を通じて各社の規格の互換性を確保しなかった場合、後に製品化された際に例えば場所によって使える機器が限定されるなど、利用者利便を著しく損なうおそれが高まることから、国が実施すべき優先度の高い事業と認められる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	○実施希望者の公募を広く行い、研究提案について外部有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。 ○支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うとともに、経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼し、専門的知見も活用しながら経費の執行の適正性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○研究の実施手段については、計画段階及び実施中において、外部有識者による評価を受け、実効性の高いものとなるよう随時見直しを図っている。 ○外部有識者による評価において、着実に成果が得られているとの評価を受けているものであり、効率的かつ着実に実施している。 ○総合科学技術会議「平成23年度科学・技術重要施策アクション・プラン(平成22年7月8日)」において施策パッケージとして、主に経済産業省は機器・部品類の高性能化、総務省はネットワークシステムの高度化が、それぞれの主体的役割であるとされている。 ○標準化団体OMG(Object Management Group)において、多種ロボット間でのサービスアプリケーションの相互利用が可能となる技術標準が承認されるなど、研究開発成果の国際標準化が進展している。 これらの標準化活動については、Webページでその概要を分かりやすく説明するとともに、技術仕様を公開し、国内外で広く利用を呼びかけている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト・経済産業省(平成22年度まで)	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>○本施策は、高齢者・障がい者の社会参加の拡大や医療・介護サービス基盤の強化等、高齢者や障がい者が安心・安全に暮らせる地域・社会の実現に向け、ネットワークロボットの研究開発を推進するものであり、その成果による利益は広く国民に享受されるものであることから、国民のニーズに応えるものと認められる。また、ネットワークロボット技術が世に出ようとしている現在のタイミングで、国のプロジェクトとして複数受託者が一体となって推進し、標準化を通じて各社の規格の互換性を確保しなかった場合、後に製品化された際に例えば場所によって使える機器が限定されるなど、利用者利便を著しく損なうおそれが高まることから、国が実施すべき優先度の高い事業と認められる。</p> <p>○支出先の選定にあたっては、実施希望者の公募を広く行い、研究提案について外部有識者からなる評価会において評価を行い、最も優れた提案を採択する企画競争方式により、競争性を担保している。また、支出先における委託経費の執行にあたっては、事前に予算計画書を提出させるとともに、年度途中及び年度末に委託費の支出に関する証憑書類を提出させ、総務省担当職員が詳細な確認を行うとともに、経理検査補助業務を外部の監査法人へ依頼し、専門的知見も活用しながら経費の執行の適正性を確保している。さらに、毎年度、外部有識者により、研究開発の実施状況及び次年度の実施計画を評価し、引き続き研究開発を実施することの妥当性を判断している。</p> <p>○本施策は、総合科学技術会議「平成23年度科学・技術重要施策アクション・プラン(平成22年7月8日)」において施策パッケージとして、主に経済産業省は機器・部品類の高性能化、総務省はネットワークシステムの高度化を、それぞれの主体的役割として推進することとされていること、外部有識者による評価において、計画通りの成果が得られているとの評価を受けていることから効率的かつ着実に実施している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
平成23年度をもって事業終了			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
初期の目標を達成したことから、平成23年度をもって事業終了			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0049	平成23年行政事業レビュー	0055

※平成23年度実績を記入



※端数処理の関係で合計額が一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金額
 が支出されている者
 について記載する。費
 目と使途の双方で
 実情が分かるよう
 に記載)

A. ㈱国際電気通信基礎技術研究所			E. 日本電信電話㈱		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員費、研究補助員費	165	その他経費	その他特別費、旅費・交通費	3
その他経費	その他特別費、旅費・交通費、設備施設料等	31	人件費	研究員費	2
物品費	リース・レンタル費、保守費、消耗品費、備品費	25	一般管理費	一般管理費	1
一般管理費	一般管理費	22	消費税	消費税	0
消費税	消費税	12			
計		256	計		6
B. ㈱東芝			F. 監査法人ブレインワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他経費	その他特別費、旅費・交通費	30	人件費	経理検査補助	0.3
人件費	研究員費	17			
物品費	備品費	13			
一般管理費	一般管理費	5			
消費税	消費税	3			
計		68	計		0.3
C. ㈱日立製作所			G. 総務省職員		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員費	31	旅費	職員旅費	0.3
その他経費	その他特別費、旅費・交通費	21			
物品費	リース・レンタル費	1			
一般管理費	一般管理費	5			
消費税	消費税	3			
計		60	計		0.3
D. 日本電気㈱			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他経費	その他特別費、旅費・交通費	27			
人件費	研究員費	17			
物品費	リース・レンタル費	1			
一般管理費	一般管理費	4			
消費税	消費税	2			
計		52	計		0

※各費目の端数処理の関係で合計額が一致しない箇所がある。

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株国際電気通信基礎技術研究所	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発の実施	256	公募・委託	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株東芝	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発の実施	68	公募・委託	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株日立製作所	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発の実施	60	公募・委託	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発の実施	52	公募・委託	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電信電話株	ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発の実施	6	公募・委託	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	監査法人ブレインワーク	委託研究開発の経理検査の実施	0.3	5	69.20%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	総務省職員	職員旅費	0.3	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					